



工学研究院フロンティア化学教育研究センター設置のお知らせ

北海道大学では、2010年ノーベル化学賞受賞対象となった「鈴木・宮浦クロスカップリング反応」の研究基盤および文部科学省グローバルCOEプログラム「触媒が先導する物質科学イノベーション」(平成19年度～23年度)で構築した国際的に卓越した教育研究拠点機能を一層充実させるため、平成24年4月より文部科学省運営費交付金特別経費により「次世代型クロスカップリング反応が拓く分子構築イノベーション」プロジェクトを開始していますが、同プロジェクトの実施主体として、また、化学のフロンティア研究および人材育成を推進する組織として、北海道大学大学院工学研究院に「フロンティア化学教育研究センター」を平成24年6月1日付けで設置することになりました。同センターは、本学大学院工学研究院、理学研究院、触媒化学研究センターに所属する16名の教員、特任教員で構成、運営され、センター長には工学研究院 宮浦憲夫 特任教授が就任いたします。また、平成25年度末には、文部科学省より予算措置され、建築準備が始まっているフロンティア応用科学研究拠点施設内に本センターの活動拠点が新たに設置される予定です。

【センターの概要】

エネルギー、環境、医療といった21世紀の重要課題の解決に向けて、物質・エネルギー変換および新物質創製を担う化学者への期待は少なくありません。本学は「パラジウム触媒を用いた鈴木・宮浦クロスカップリング反応」に代表されるように、触媒を基盤とする物質科学分野で先導的研究を発信してきました。本センターでは、これまでに構築してきた国際的な教育研究拠点機能を軸として、世界をリードするフロンティア化学の研究を推進し、グリーンイノベーション、ライフイノベーションの実現を目指します。さらに、欧米・アジアの教育研究拠点との学術交流ネットワークを強化し、次代を担うグローバルリーダーを養成するための人材育成支援事業を展開します。

【センターの活動】

1) フロンティア化学の研究推進

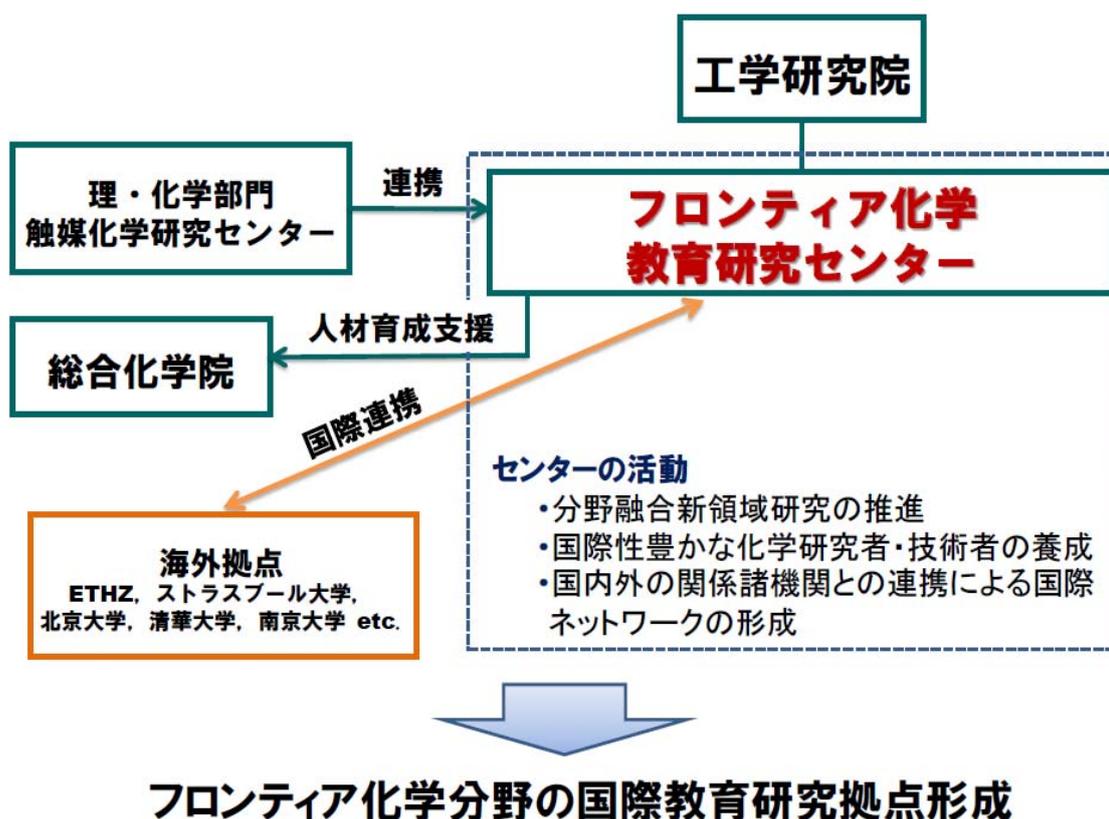
本センターに、物質デザイン化学分野、分子変換化学分野、機能創成化学分野、機能解析化学分野の4つの研究分野を設置し、従来の枠にとらわれない分野融合新領域研究を推進します。これにより新機能を持った物質の創製、高効率かつ高選択的物質変換、エネルギー変換の達成を目指します。

2) 次世代グローバルリーダーの養成

海外の第一線の研究者を招聘して行う英語による最先端講義、企業研究者による産業実学講義、海外留学、中長期企業インターンシップなどの大学院生(総合化学院)支援事業を行い、将来グローバルに活躍できる人材を育成します。

3) 国際連携

これまでに構築したスイス連邦工科大学チューリッヒ校，ストラスブール大学，北京大学，清華大学，ソウル国立大学などの欧米，アジアの拠点大学との学術交流を強化し，共同研究，学生交流を通じた国際ネットワークを形成し，海外からも人材を惹きつける教育研究拠点を構築します。



お問い合わせ先

北海道大学大学院工学研究院フロンティア化学教育研究センター事務局

TEL&FAX: 011-706-6788 E-mail: mc104@eng.hokudai.ac.jp